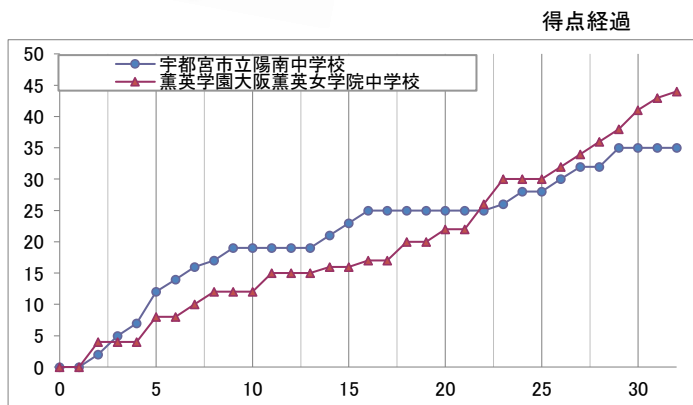




大会名	平成29年度 全国中学校体育大会 第47回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	那覇市民体育館																
日時	2017年8月24日(木)	14:50															
コート	NAコート 第5試合																
カテゴリ	女子決勝トーナメント2回戦																
主審	蒲 健一	(本部)															
副審	豆塚 宣男	(熊本)															
TEAM A	TEAM B																
陽南 (栃木県)	35 ●	44 ○ 大阪薫英 (大阪府)															
	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>8</td><td>2nd</td><td>5</td></tr> <tr><td>3</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>7</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	17	1st	12	8	2nd	5	3	3rd	13	7	4th	14	-			
17	1st	12															
8	2nd	5															
3	3rd	13															
7	4th	14															
-																	



BOXスコア

TEAM A		宇都宮市立陽南中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	佐藤 多加子 (CAP)	×	17	1	5	4	4	
5	横島 楓華	×	7	0	3	1	2	
6	関 桃菜	×	5	1	1	0	4	
7	福田 萌夏	DNF	0	0	0	0	0	
8	山中 優有	DNF	0	0	0	0	0	
9	大嶋 星空	×	0	0	0	0	4	
10	神山 南帆	×	6	0	3	0	3	
11	伊藤 虹歩	/	0	0	0	0	1	
12	島田 あおい	DNF	0	0	0	0	0	
13	福田 姫和	DNF	0	0	0	0	0	
14	呼子 真洸	DNF	0	0	0	0	0	
15	高橋 梨奈	DNF	0	0	0	0	0	
16	富澤 玲奈	DNF	0	0	0	0	0	
17	高橋 美紗貴	DNF	0	0	0	0	0	
18	太田 愛	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	増田 富重							
合計			35	2	12	5	18	

TEAM B		薫英学園大阪薫英女学院中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	佐藤 瑠菜 (CAP)	×	9	1	3	0	2	
5	前田 芽衣	×	1	0	0	1	4	
6	平井 柚菜	/	0	0	0	0	0	
7	和田 葉奈	×	3	0	1	1	3	
8	西村 香凜	×	21	0	9	3	1	
9	高木 日菜子	/	0	0	0	0	0	
10	早川 芽依	DNF	0	0	0	0	0	
11	櫻井 咲音	DNF	0	0	0	0	0	
12	澁谷 優奈子	DNF	0	0	0	0	0	
13	辻畑 有咲	×	10	1	3	1	1	
14	野々村 香那	/	0	0	0	0	0	
15	佐藤 双羽	/	0	0	0	0	3	
16	唐原 心凜	DNF	0	0	0	0	0	
17	北之防 希光	DNF	0	0	0	0	0	
18	横山 智那美	/	0	0	0	0	0	
コーチ	市川 藤乃							
合計			44	2	16	6	14	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

決勝トーナメント2回戦、ベスト4をかけた一戦は陽南(関東4位)対 薫英(近畿1位)の対戦となる。1Q、大阪薫英#7のドライブイン、陽南#5のジャンプシュートで試合が始まる。両チーム固さがみられ得点が取れない中、陽南は#4にボールを集めジャンプシュートや3Pで得点を取る。薫英は#4、8、13がドライブインやジャンプシュートで得点を重ね、陽南17-12薫英で1Q終了。2Q、1Qに続き陽南は#4にボールを集めてゴールを狙うが、薫英の激しいボールマンへのプレッシャーDefや素早いカバーリングでシュートが決まらない。薫英も#8がペイントエリアを攻めるが、陽南の高さに阻まれ得点が奪えない。薫英はファウルからフリースローをもらうが、なかなか決めきれず得点が伸びず、陽南25-17薫英で前半終了。

3Q、開始2分半ノーゴールが続いたが薫英#13の3Pでゲームが動く。薫英のDefプレッシャーで陽南は24秒ヴァイオレーションを取られ次の攻撃で#8が連続して得点を取り逆転に成功する。その後も、薫英#13がブレイクやドライブインで得点を重ねる。陽南は#4のフリースローで得点を取り、陽南28-30薫英で3Q終了。4Q、開始直後に陽南#4、5のピックアンドロールから同点にする。ここから、陽南は#4を中心に、薫英は#8がゴール下でOffリバウンドから粘り強くゴールを奪い、点の取りあいが続く。2分1秒、薫英#8がゴール下のシュートでファウルをもらいバスケットカウントワンスロー。このフリースローを決め、薫英6点リード。追い上げを図りたい陽南は、#4にボールを集め1対1を仕掛けるも、薫英の堅いDefに阻まれ、陽南35-44薫英で試合終了。両チーム、粘り強いDefとひたむきにボールを追いつつ最後まで緊迫した試合となった。